

日本の国家ブランド力 世界1位に

2017年1月29日
newsphere.jp
2014年11月 他

銀座の目抜き通りには世界の有名ブランド((アップル・ルイヴィトン・シャネル・ミキモト))があふれています。ブランドはモノやサービスの品質のあかしで市場が決めるものです。

商品のブランドだけでなく、最近では国家のブランド力が世界の注目をあびています。タイ・台湾・韓国などは国のソフトパワーを高める国策としてコンサル会社と契約し、種々の活動を積極的に展開しています。投資や観光客を呼び込み、国際的な国の価値を高めることが狙いです。

アメリカの会社「フューチャーブランド」は毎年、国別ブランド評価ランキングを発表しています。2014年ー2015年の調査で、初めて日本が1位に選ばれました。本調査は、頻りに海外旅行をする17か国の旅行者2530名の意見を集めたもので、ブランドに認定された国は対象75か国中22か国のみとなっている。日本は、2010年度6位、2011年度4位、前回の2012-13年度3位と徐々に順位を上げてきました。

旅行者の意見の中には、日本は「ユニークな国、取引相手としてだけでなく、文化的にも。日本にいることはユニークだ」「立ち止まらず常に上昇している国。ロボット技術や工学で世界を上回っている」などもある。

ランキング決定の仕組み

その国のパフォーマンスを計る軸として相応しい度合を、「暮らし」、「価値観」、「ビジネス」、「文化」、「観光」、「生産品」の6つについて、パーセンテージで評価。次に「認知度」、「親しみやすさ」、「連想するもの」、「好ましさ」、「考慮すべき事項」、「結局、訪問を勧めるか」の項目に関してパーセンテージで評価

世界一となった日本ブランドに対する評価を見てみよう。

- ・日本がもっとも熟達している分野は？ テクノロジー、家電、自動車
- ・日本のブランド力を高める原動力は？ テクノロジーとイノベーション
- ・日本から最も強く連想される事は？ テクノロジーの先進性
- ・日本を上述の6つの軸で評価した場合の一番は？ ビジネスの成長性
- ・日本を一言で言い表すと？ テクノロジー、文化、食べ物、サムライ、寿司、ラズベリ、友好的、アニメ、美しい、エレクトロニクス、安全...
- ・日本製品をどう思うか？ 高品質



2014-15年度国家ブランド指数 ランキング上位20カ国

1. 日本
2. スイス
3. ドイツ
4. スウェーデン
5. カナダ

6. ノルウェー
7. アメリカ合衆国
8. オーストラリア
9. デンマーク
10. オーストリア

11. ニュージーランド
12. イギリス
13. フィンランド
14. シンガポール
15. アイスランド

16. オランダ
17. フランス
18. イタリア
19. アラブ首長国連邦
20. 韓国

国別ブランドは消費者製品ブランドと関係がある 日本なら、トヨタ、任天堂、本田、ソニー、東芝、パナソニック。
国別ブランドは特徴となる専門性を持つ フランスはファッション、ドイツは自動車、日本はテクノロジー。
国別ブランド力を高めるものの上位は テクノロジー、イノベーション、持続性である。
ニューヨーク、ロンドン、北京が世界で最も影響力のある都市

日本は世界から高く評価されていますが、日本国民はその持てる力を自己評価、認識できず、更に国内外に発信できずにいます。日本人は日本のすばらしさになれすぎ、鈍感、世界の中での国別の比較ができないのです。日本は21世紀の成熟国家で、日本人・日本列島は世界遺産の価値があります。自信をもって前に進みましょう！

- 日本流の生活の仕方(四季の変化に順応した生活、自然観・宗教観・倫理観)、助け合いの長寿社会・長寿世界一、安心安全清潔社会 国土の森林比率が高く(68%)水道水が飲め、空気がきれい、日本の川は3万5千本 全国の畑などの水路網総延長は地球10周分の約40万キロ、日本の国土を潤す 世界最長の日本の皇室
- 国民皆保険は国民の財産・年金など社会保障の整備、高度な教育システム
- 鉄道バス地下鉄、道路網、上下水道など社会インフラの整備、 ■世界がうらやむ日本食を食べる、食の安全
- 美しい観光地(全国にまたがる観光地、亜熱帯～亜寒帯 南北に3000キロ)
- 伝統文化と現代の漫画・アニメ・ゲームなどが融合している
- 民主主義国、70年以上戦争をしていない ■世界3位の経済大国、■円は国際通貨の一つ、■G8国 ■国連分担金は世界2位、■ODA世界5位 ■外貨準備高 世界2位 ■ 世界6位の面積を持つ海洋国(領土+排他的経済水域)
- 長寿企業大国 100年以上企業・5万社、三方よし経営 ■個人の金融資産1400兆円 世界2位
- 人口1億2700万人 世界10位 国内に一大消費市場がある(江戸時代1200万人→明治3300万人→1945年 7200万人)
- ノーベル賞受賞者数アジアNO1 24名(世界7位、インド5名・中国3名・韓国1名) などに自信を持ちましょう。